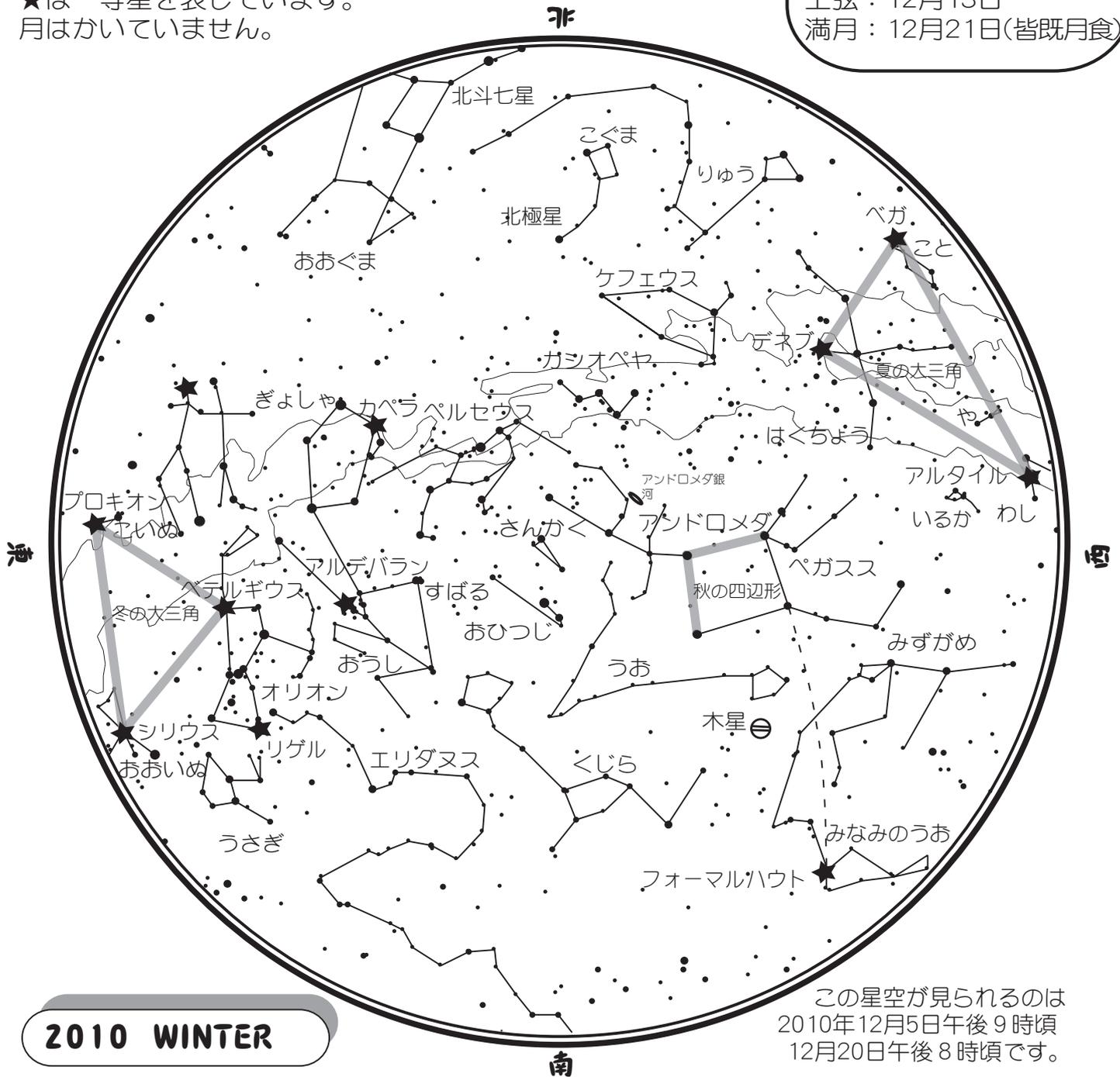


★ 姫路で見る12月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月：12月6日
上弦：12月13日
満月：12月21日(皆既月食)



この星空が見られるのは
2010年12月5日午後9時頃
12月20日午後8時頃です。

夜空の星座たちは季節によって分けられ、三角や四角といった星並びのわかりやすい目印から探すことができます。

西の空にははくちょう座のデネブ、こと座のベガ、わし座のアルタイルからなる「夏の大三角」が見えています。頭上を飛び越していくペガサス座の胴体は「秋の四角形」です。そして東の空に見られるオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結んでできるのが「冬の大三角」です。

南西の空でひときわ明るく輝いているのは、太陽系最大の惑星「木星」です。12年で太陽の周りを回る木星は、しばらくは秋の星座であるうお座の近くで輝きます。そして来年の2月下旬から3月上旬にはくじら座へ、その後はうお座にもどって、6月上旬からはおひつじ座へと星座の中をうろろと移動していきます。

これからの季節は、空気も澄んで星もより輝いて見えます。星座の移り変わりを感じ木星の動きにも注目をしながら、星空を眺めて見ましょう。